

## I. 一般目標 (General Instructional Objective)

1. 全人的医療を行うための基本的知識と技術を学ぶ。
2. パラメディカルスタッフとのチーム医療に参加し、医師として必要な態度・習慣を修得する。
3. 患者やその家族とのコミュニケーションスキルを学ぶ。

## II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 症状・徴候から鑑別診断をあげることができる。
  2. 必要な診察法、検査の目的を説明することができる。
- ① 以下の項目を自ら実施し、判定評価した結果をカルテに記載する。
- ・問診(患者とのコミュニケーション)
  - ・頸部・胸部・腹部の診察(視診、触診、聴診、打診など)
  - ・直腸診 肛門鏡検査
  - ・各種ドレーンの管理
  - ・血液検査(血算・生化学など) 検尿
  - ・栄養評価
  - ・心・肺機能の評価
  - ・術前カンファランスの準備
  - ・退院時サマリーの記載
- ② 指導医のもとで指示・依頼をうけた検査の実施と、その結果を自身で判定または評価することができる。
- ・X線検査(単純撮影、上部・下部消化管造影、CT、MRI、PETなど)
  - ・内視鏡検査(上部・下部消化管内視鏡検査)
  - ・超音波検査

## III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファレンスなど

## IV. 経験できる疾患・手術など

### 経験できる疾患:

食道: 食道悪性腫瘍、食道粘膜下腫瘍、食道アカラシア、食道憩室、食道裂孔ヘルニア

胃・十二指腸: 胃悪性腫瘍、胃粘膜下腫瘍、十二指腸腫瘍

小腸: 小腸腫瘍、イレウス

大腸: 大腸悪性腫瘍、大腸良性腫瘍、大腸憩室、肛門疾患

その他: 腹腔内腫瘍、炎症性腸疾患、虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔、腹壁ヘルニア、ソケイヘルニア

### 経験できる手術:

上記疾患の鏡視下手術と開腹手術

- ・食道切除+胃管再建術、アカラシア手術、食道裂孔ヘルニア手術
- ・幽門側胃切除術、噴門側胃切除術、胃全摘術、胃腸吻合術
- ・結腸切除術、低位前方切除術、腹会陰式直腸切断術、人工肛門造設術、ヘルニア手術

### 経験できる治療

- ・消化管器癌(固形癌)に対する癌集学治療(化学療法、放射線治療)

## V. 評価 (Evaluation)

退院サマリー、手術記事、症例レポート・minimumEPOCによる自己評価・指導医評価。指導医・看護師などによる形成的評価。

## VI. 指導者と研修施設

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 1. 診療部長  | 赤木 由人                             |
| 2. 指導責任者 | 的野 吾                              |
| 3. 指導医   | 的野 吾(食道)<br>村上 直孝(胃)<br>藤田 文彦(大腸) |
| 4. 研修施設  | 久留米大学病院                           |

## VII. 週間予定

月	8:00	研究発表会、抄読会 Morbidity and Mortalityカンファレンス
	9:00	教授回診(病棟)/検査
	17:00	グループカンファレンス
火	7:30	手術報告及びICU回診
	8:00	病棟/手術/検査
水	7:30	手術報告及びICU回診
	8:00	病棟/手術/検査
木	7:30	手術報告及びICU回診
	8:00	病棟/手術/検査
金	7:30	手術報告及びICU回診
	8:00	術前カンファレンス
	9:00	病棟/手術/検査
土	9:00	病棟

